

令和元年度

大阪府障がい児等療育支援事業 全体研修

増やそう！広げよう！！



支援の輪

令和元年11月19日(火)

大阪府立 西浦支援学校

地域支援リーディングスタッフ

本日の流れ

- ①大阪府立西浦支援学校の紹介
- ②特別支援教育、個別の教育支援計画について
- ③各機関の連携と支援学校の役割



大阪府立西浦支援学校

Osaka Prefectural Nishiura School for Students with Special Needs





大阪府立西浦支援学校

Osaka Prefectural Nishiura School for Students with Special Needs



最寄駅：近鉄古市駅
駅から南へ1.2km



近くを流れる
「大乗川」のカモ



二上山・古市
古墳群一望！



～本校屋上より～



大阪府立西浦支援学校

Osaka Prefectural Nishiura School for Students with Special Needs

- 児童生徒数 (R元. 5. 1現在)

小学部 104名 (男子81 女子23)

中学部 85名 (男子49 女子36)

高等部 209名 (男子132 女子77)

合計 398名

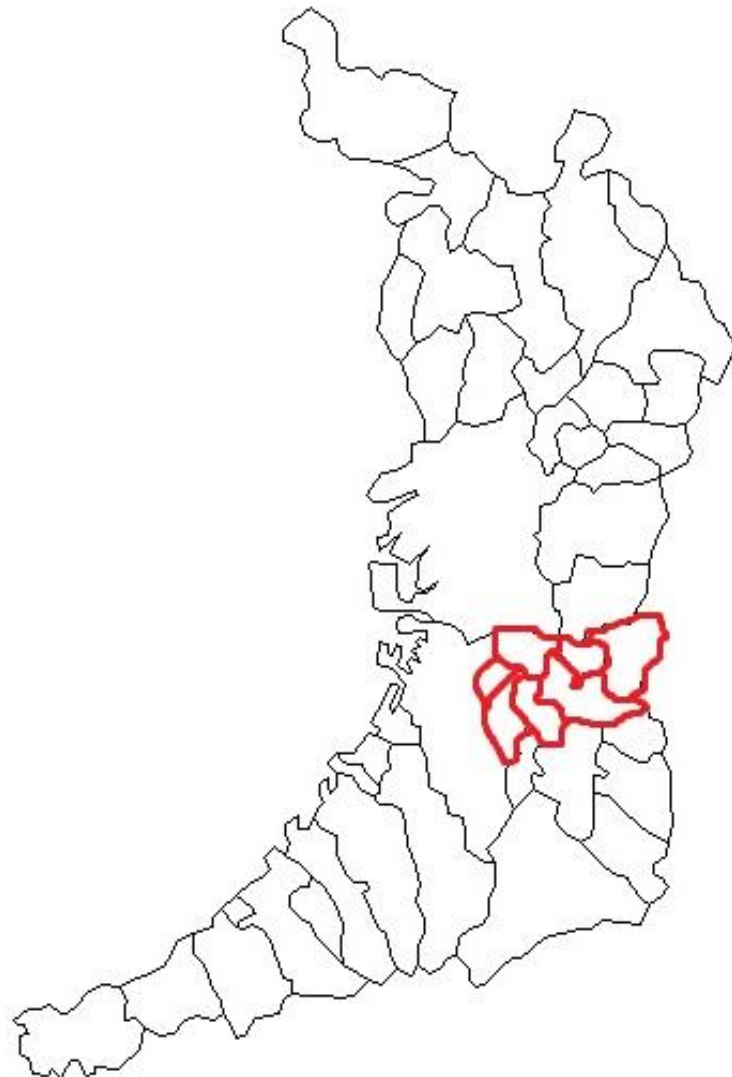
- 教職員数 約170名



<通学区域>

- ①羽曳野市
- ②藤井寺市
- ③松原市
- ④柏原市
- ⑤東大阪市（向陽学園）
- ⑥堺市（美原区、東区、北区の一部）

注)⑥は高等部のみ



教員の業務

行事関連

教科指導

学校運営

生徒指導

その他

保護者
対応



校務分掌

西浦支援学校

教務企画部(事務・企画・システム)

生活指導部(児童生徒指導・保健安全・児童生徒会)

育成研修部(研修・研究・育成)

支援進路部(支援・進路)

総務部(バス・備品予算・情報・PTA)

- ・それぞれの部の中で、チームに分かれて業務を遂行
- ・支援教育コーディネーターは「支援進路部」に属する

学校生活

8 : 55	通学バス到着、登校 自立活動（小：生活）
9 : 50	午前の授業
11 : 40頃	給食・休憩
12 : 30頃	特別活動
13 : 00	午後の授業（中・高）
13 : 20	通学バス発車、下校（小） 午後の授業（小）
14 : 50	自立活動（小：生活）
15 : 20	通学バス発車、下校

小学部時間割

月		火						水						木						金											
小学部		小学部						小学部						小学部						小学部											
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
50	1時間目	生活						生活						生活						生活											
50	2時間目	道徳						図工	ことば・かず					ことば・かず	音楽	生活	歩行学習						音楽	ことば・かず							
10																															
30	3時間目	特活						図工	自活					ことば・かず	音楽	ことば・かず							音楽	自活							
20		生活						生活						生活						生活											
		給食・休憩						給食・休憩						給食・休憩						給食・休憩											
30		生活						生活						生活						生活											
60	4時間目	/	図工	体育					体育	図工	生活					/	生活	図工					音楽								
60	5時間目		/	生活					生活						/		生活						生活								

中学部時間割

月		火			水			木			金					
中学部		中学部			中学部			中学部			中学部					
		1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3			
50	1時間目	自活			自活			自活			自活					
50	2時間目	特活			自活	道德	国社外	国社外	特活	自活	道德	自活	特活	特活	国社外	数理
50	3時間目	国社外	数理	道德	体育			数理	国社外	数理	体育			数理	数理	国社外
		給食・休憩			給食・休憩			給食・休憩			給食・休憩			給食・休憩		
20		特活			特活			特活			特活			特活		
75	4時間目	美術	家庭	音楽	家庭	音楽	美術	作業			音楽	美術	家庭	作業		
10																
25	5時間目	清掃			清掃			清掃			清掃			清掃		
30		自活			自活			自活			自活			自活		

高等部時間割

月		火						水						木						金											
高等部		高等部						高等部						高等部						高等部											
生活		CF			生活			CF			生活			CF			生活			CF			生活			CF					
1		2		3		1		2		3		1		2		3		1		2		3		1		2		3			
50	1時間目	自活						自活						自活						自活						自活					
		職業(清掃)			座学			職業(清掃)			座学			職業(清掃)			座学			職業(清掃)			座学			職業(清掃)			座学		
50	2時間目	特活						理系	保体	芸術	理系	保体	芸術	職業						芸術	保体	文系/社情	芸術	保体	文系/社情	職業					
10																															
50	3時間目	道徳	芸術	保体	道徳	芸術	保体	芸術	理系	家庭	芸術	理系	家庭	職業						家庭	芸術	社情/文系	家庭	芸術	社情/文系	職業					
		給食・休憩						給食・休憩						給食・休憩						給食・休憩						給食・休憩					
35		特活						特活						特活						特活						特活					
50	4時間目	職業			職業			文系/社情	道徳	理系	文系/社情	道徳	理系	保体	家庭	芸術	保体	家庭	芸術	自活	文系/社情	保体	自活	文系/社情	保体	保体	理系	文系	職業*		
5																															
50	5時間目	職業			職業			社情/文系	自活	道徳	社情/文系	自活	道徳	総合						文系	社情/文系	理系	文系	社情/文系	理系	理系	文系	自活	職業*		
35	6	自活						自活						自活						自活						自活					

*金曜午後のキャリアフロンティアコースは授業内の職場実習に出た場合「職業」として扱う

特色ある教育活動

地域とのかかわり

- 行事の公開（体育大会など）
- 「にしうらしえんマルシェ」
- 近隣福祉施設での発表（演奏）
など

交流活動

- 近隣の小、中、高等学校との交流
- 南河内地区合同運動会、作品展参加
- 居住地校交流
- 学部間交流 など

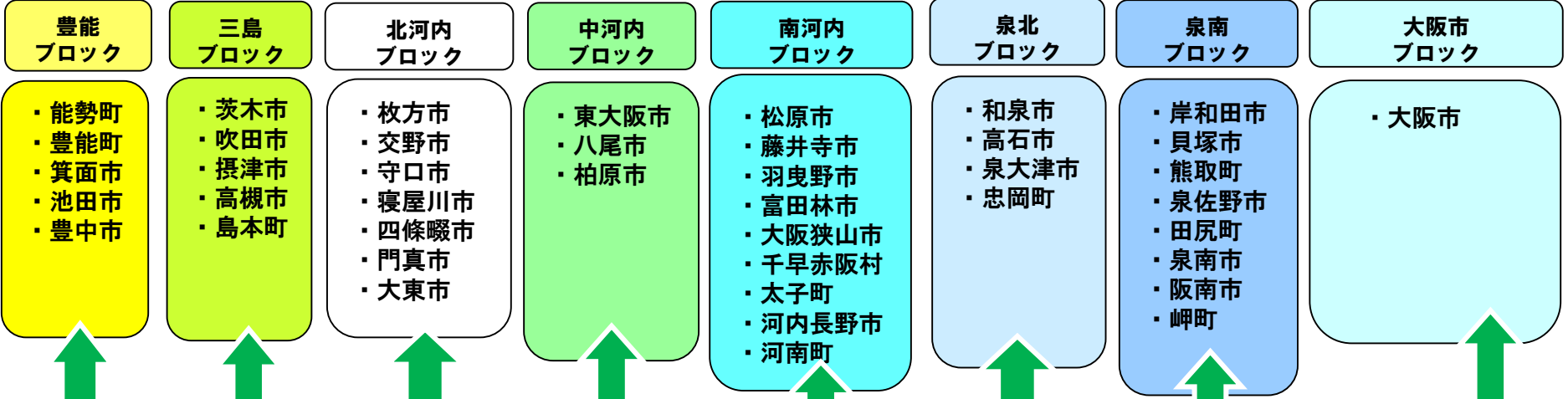
特別支援教育

「これまでの特殊教育の対象の障害だけでなく、その対象でなかったLD、ADHD、高機能自閉症も含めて障害のある児童生徒に対してその一人一人の教育的ニーズを把握し、当該児童生徒の持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するために、適切な教育や指導を通じて必要な支援を行うものである」

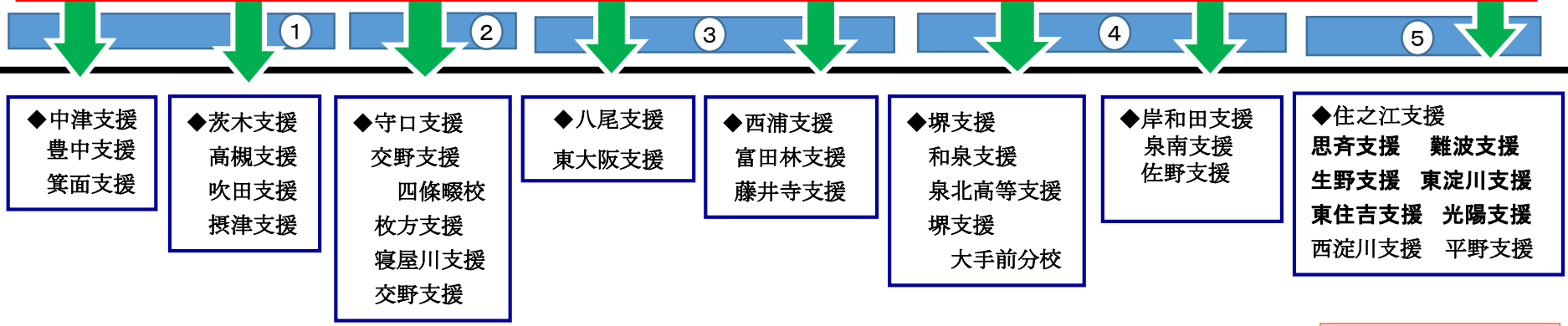
（文部科学省 「今後の特別支援教育の在り方について(最終報告)」

H15. 3

H31年度 「大阪府支援教育地域支援整備事業」における地域ブロック内の連携体制



各ブロック単位での連携とリーディングスタッフの訪問相談の実施

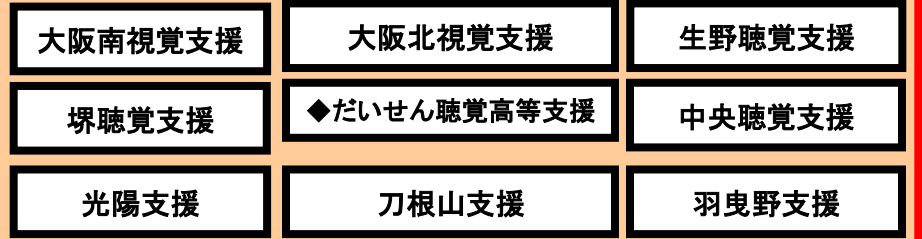


◆平成31年度推進校、幹事校

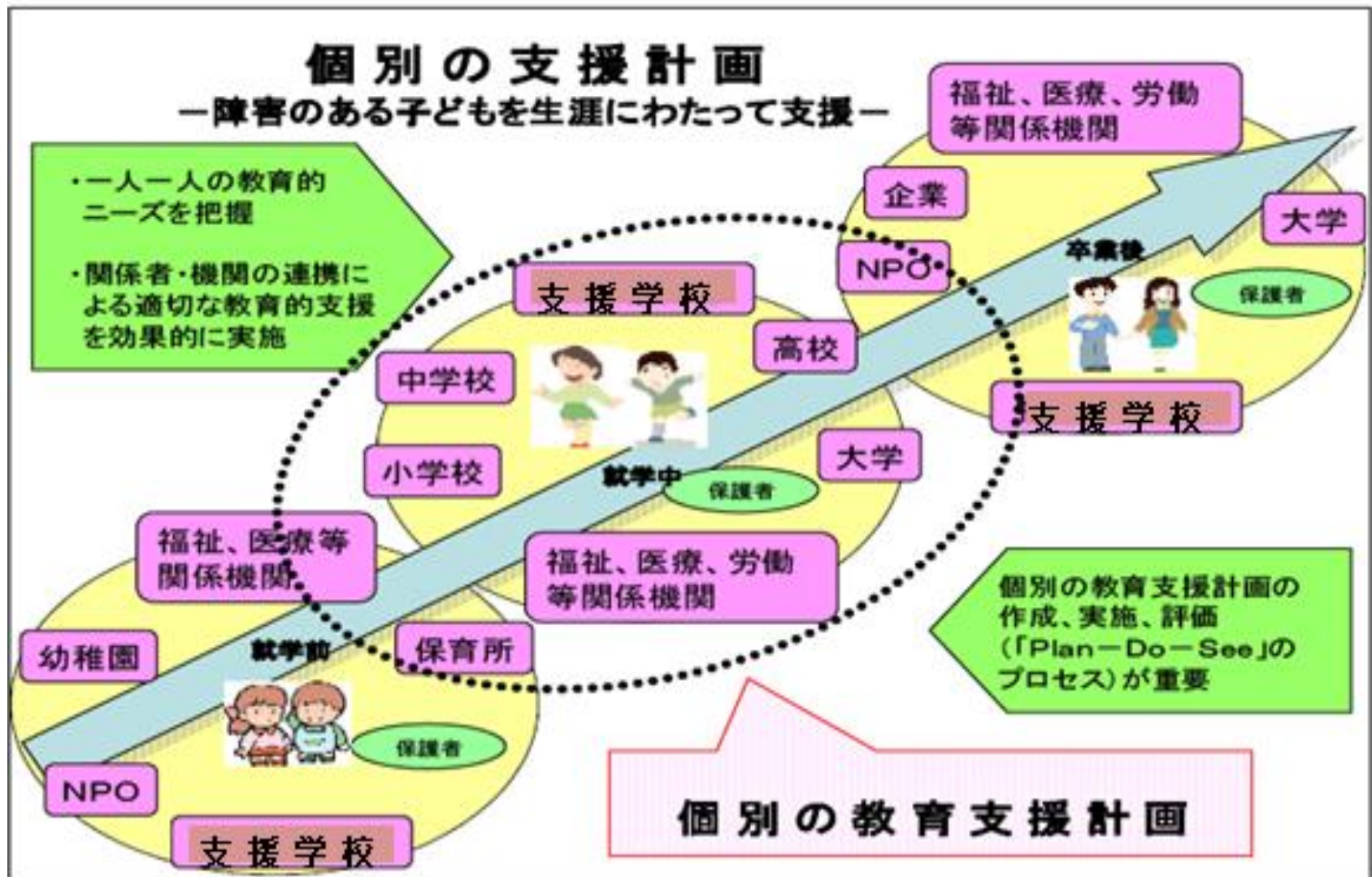
職業学科高等支援グループ ○数字は、オブザーバー 参加する地域



広域支援グループ



個別の教育支援計画



『オリジナルロードマップ』

本人の状態・実態をつぶさに明らかにし把握したうえで発達の・認知的・学習的課題を設定し、その達成のための手立てを講じる。

- ・短期的：指導計画
- ・長期的：教育支援計画



個別の教育支援計画 作成・活用・運用

★学校が作成

★本人中心、保護者のもの

★関係機関との連携ツール

★合理的配慮の盛り込み

★作成→実施→評価→改善
のプロセスが大事

プロフィール

大阪府立西浦支援学校
 <様式 A-1-①>

個別の教育支援計画 プロフィール

大阪府立西浦支援学校
 <様式 A-1-②>

ふりがな		性別	男 ・ 女		
児童生徒名		生年月日	平成 年 月 日		
ふりがな					
保護者名					
住 所		【現住所】 〒 —			
		【変更した場合】 〒 —			
連絡先	緊急 連絡先	固定電話 携帯電話 ()	名前： 関係：()		
		固定電話 携帯電話 ()	名前： 関係：()		
		固定電話 携帯電話 ()	名前： 関係：()		
		固定電話 携帯電話 ()	名前： 関係：()		
	勤務先	勤務されている方	()		
		勤務先名			
		住所			
		電話番号	()		
登下校	通学バス	通学バス停まで保護者同伴 通学バス停まで1人で登校			
		バスコース名 () バス停名 () 登校 自宅発 () → 通学バス停着 () 下校 通学バス停発 () → 自宅着 ()			
	自主通学	徒歩 自転車 公共交通機関 (電車・バス) 自宅 → → 学校 通学時間 分			

主障がい (病名)			
療育手帳	有 ・ 無 ・ 申請中 ※○をしてください	判定 A ・ B1 ・ B2	交付年月日 年 月 日
	更新	判定 A ・ B1 ・ B2	交付年月日 年 月 日
精神障害者 保健福祉手帳	有 ・ 無 ・ 申請中 ※○をしてください	判定 () 級	交付年月日 年 月 日
	有 ・ 無 ・ 申請中 ※○をしてください	判定 () 級	交付年月日 年 月 日
身体障害者 手帳	有 ・ 無 ・ 申請中 ※○をしてください	判定 () 級	障害種別 交付年月日 年 月 日
	保育園もしくは幼稚園	小学校	中学校
出身学校			
家族構成	家族名	生年月日	続柄
備考			

生活マップ

生活マップ

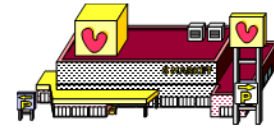


学校

大阪府立西浦支援学校
住所 大阪府羽曳野市西浦2丁目1797番地
電話 072-957-0617
FAX 072-957-0623



親戚・友だちなど

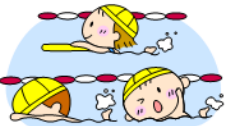


様式A-1-③

買い物など



通学バス停・自主通学方法



スイミングなどの
習い事



タイムケア等の
放課後・休日支援

大阪府立西浦支援学校 部 年
児童生徒名 ()

〒
住所
電話

医療・訓練機関



相談機関や役所



ヘルパー

生活の様子

大阪府立西浦支援学校
 <様式 A-2-①>

大阪府立西浦支援学校
 <様式 A-2-②>

個別の教育支援計画 生活の様子

個別の教育支援計画 生活の様子

心りがな		学部・学年・組	記載者 (担任)	最終記載日 令和 年 月 日
児童生徒名				
興味・関心	得意・好き・強み			
	苦手・嫌い・禁忌			
項目	自立:1 支援があればできる:2 介助が必要:3		記述	
日常生活動作・基本的な生活習慣	着脱	□「着脱」について、以下の項目全て自立している 衣服・着脱()、ボタン()、チャック()、 前後()、表裏() 靴・着脱()、左右()、 <u>ひも</u> ()		
	移動	□「移動」について、以下の項目全て自立している 自由移動・歩く()、歩行具[無・有:]、 走る()、階段昇降() 目的地移動・自教室()、トイレ()、他教室()		
	食事	□「食事」について、以下の項目全て自立している スプーン()、補助箸()、箸()、咀嚼()、 コップで飲む()、ストローで飲む() 食事量[少・普通・多] 食事量の配慮[必要・不要]きざみ[必要・不要] 偏食[無・有:] 野菜(特に)] 姿勢[]		

項目	自立:1 支援があればできる:2 介助が必要:3	記述
日常生活動作・基本的な生活習慣	排泄	□「排泄」について、以下の項目全て自立している 排泄の自覚 [無・有]、後始末() 排尿・オムツ[無・有:] いつ [定時:] 不定] 知らせる[声・行動・表情・サイン] 排便・オムツ[無・有:] いつ [定時: 朝食後] 不定] 知らせる[声・行動・表情・サイン]
	睡眠	睡眠リズム[安定・不安定] 就寝時間 [定時:] 不定] 起床時間 [定時:] 不定] 睡眠時間 [時間程度]
健康上の配慮	配慮事項[] 平熱[] 発作[無・有] 最近の発生日(年 月 日) 服薬[無・有]→服薬時間[朝・昼・夕・就寝前] [自分で管理服薬できる・言葉かけ必要・要介助]	

生活の様子

大阪府立西浦支援学校
 <様式 A-2-③>

大阪府立西浦支援学校
 <様式 A-2-④>

個別の教育支援計画 生活の様子

個別の教育支援計画 生活の様子

項目	自立:1 支援があればできる:2 介助が必要:3	記述
運動技能	両足跳び(), ケンケン(), 跳ぶ(), ボールを投げる[両手・下手・上手](), 体力[ある・ない], ちぎる(), 指でつまむ() 手指の操作[クレヨン・えんぴつ・はさみ・その他:]	
学習姿勢	集団参加(), 着席する(), 見る(), 聞く(), 待つ(), 移動する(), 指示やルールを理解する()	
認識	形の分別(), 色の分別(), 数[1・1~3・1~5・1~10・10以上] 計算[たし算・ひき算・かけ算・わり算] 文字読み[ひらがな・カタカナ・漢字] 文字書き[ひらがな・カタカナ・漢字]	
作業能力	継続的に一人で作業に取り組める() 時々声をかけると作業ができる() 常に支援、介助が必要である()	
コミュニケーション	名前を呼ばれて返事をする(), 指示を理解する(), 要求表現[言葉・身振り・発声・指さし・手を引く・ その他:] 会話[簡単な会話・二語文・一語文・反復言語・ 独語・喃語・その他:] 発音[はっきりしている・だいたいわかる・聞き取りにくい] 気持ちや考えを表現する(), 困ったときに伝える(), 視線やジェスチャーなどの理解と活用()	

項目	自立:1 支援があればできる:2 介助が必要:3	記述
人間関係・対人関係	あそび[対大人・対子ども・一人あそび], 模倣(), 友だちと手をつなぐ(), 順番を待つ(), 競争意識(), 勝敗意識()	
生活	手洗い(), ハンカチの使用(), はみがき(), うがい(), 洗顔(), 身だしなみ(), 持ち物管理(), 整理整頓(), 家庭での手伝い(), 危険認知()	
場面適応	適応できる	適応できない ・どんな場面で: ・対応方法:
行動特徴		指しゃぶり(無・有:) 衣服を噛む(無・有:) 異食(無・有:) 多動(無・有:) 衝動性(無・有:) 自傷行為(無・有:) 他害行為(無・有:) パニック(無・有:) 常同行動(無・有:) こたわり(無・有:) 過敏性(無・有:) 体温調節(できる・難しい:) その他()

目標設定

大阪府立西浦支援学校

<様式 A-3>

個別の教育支援計画 目標設定

部 年 組	ふりがな		担任名	
	児童生徒名			
本人・保護者の希望・願い	いかしたい強み と伸ばしたい力			
	卒業時・3年後 につけたい力			
年間目標				
前期目標				
支援の内容				
前期の様子と課題				

後期目標	
支援の内容	
後期の様子と課題	
来年度(卒業後) に向けての目標	

保護者確認

大阪府立西播磨支援学校
<様式D>

個別の教育支援計画について

*「個別の教育支援計画」の内容を了承します。

	策定時の確認	評価時の確認
部 年 前期	年 月 日 保護者名 ()	年 月 日 変更 無 有<様式 > 保護者名 ()
部 年 後期	年 月 日 保護者名 ()	年 月 日 変更 無 有<様式 > 保護者名 ()

⇒目的は？

★「個別の教育支援計画」とは、お子さんの希望や願いを受け止めて、学校と保護者が中心となってつくる計画です。学校に入学する前から、卒業した後までを通して、一貫した的確な支援を行うことをめざして作っていきます。

⇒作り方は？

★「個別の教育支援計画」は、日常の連絡帳や家庭訪問、懇談会を通じて、お子さんにとって必要な支援を保護者の皆様と一緒に考えて作っていきます。

⇒内容は？

★「個別の教育支援計画」には、本人・保護者の希望、支援の目標・内容、関係機関（福祉・医療・労働等）とその内容などを記入します。

⇒使い方は？

★「個別の教育支援計画」によって、学年や学部・学校が変わっても引き続いて適切な支援をしていきます。
★地域にある様々な関係機関とのつながりに活用していきます。保護者の皆様もご活用ください。

⇒注意することは？

★「個別の教育支援計画」を作ったり、活用したりする時には、個人の情報は厳しく保護し、その取り扱いには十分な注意を払います。関係機関と連携する場合にも、必ず本人・保護者の了解をとります。

実習の記録

(高1～3)

大阪府立西浦支援学校
<様式C-1>

実習の記録

ふりがな	
生徒名	

進路希望	
1年	
2年	
3年	

+

実習の記録			
学年	実習先	期間	実習内容及び評価
1年			
2年			
3年			

卒業後の支援ネットワーク (高3のみ)

大阪府立西浦支援学校
<様式 C-2>

卒業後の支援ネットワーク

福祉	大阪府障がい者 自立相談支援センター	
	福祉課、福祉事務所	
	福祉サービス事業所	
	生活支援センター等	
労働	障害者就業・生活 支援センター	
	ハローワーク	
	大阪障害者職業センター 南大阪支所	
医療		
地域活動・その他		

活用場面

- 相談支援事業所、放デイ事業所との情報共有
- 校内ケース会議
- 主治医訪問
- ヘルパー
- 学童保育
- 年金や福祉サービスなどの申請
→ 生育歴や実態の確認
- 進路先、転校先への引継ぎ
- 要保護児童等のモニタリング
(見守り) 及び定期報告



連携例：児童発達支援事業所・ 放デイ事業所・学校

★小学部児童 情報交換会

- 参加者 児童発達支援事業所・
放デイ担当者・保護者・担任
- 内容 「対人行動について」
関わっている機関が集まり情報共有



学校・放デイ・家庭での取り組みの情報共有



指導方針の共通理解・

共通の方法(カード、サイン等)

連携例：放デイ事業所・学校

★小学部児童 ケース会議

- 参加者 放デイ担当者・保護者・担任・部主事
- 内容 「国語・算数の学習」など

教育支援計画・指導計画をもとに情報共有



学校・放デイ双方の具体的な取り組みを共有し
保護者「学校・放デイのそれぞれの良さが分かった」
今後も継続的に情報交換の場を設けることに

連携例：相談支援事業所・学校

★高等部生徒 ケース会議

- 参加者 相談支援事業所職員・部主事・保護者
支援教育コーディネーター・担任
- 内容 両者の支援計画・指導計画をもとに
課題・実態・ニーズの共有



職員が定期懇談に同席

月1回のモニタリング

保護者の安心感につながり、問題行動↓

支援学校の役割

★教育機関としての学習・育ちの支援

★児童生徒の生きやすさを獲得するためのお手伝い

→保護者や関係機関と連携しつつ、

集団の渦の中で「自己肯定感」

「自己有用感」を育てる

